

心の太陽あらわそう

【作詩】遠藤芳晴
【作曲】遠藤芳晴

どんなに近くでも 見えないものがある
目を凝らして見ても 何もわからず途方に暮れる
まぶたの先のまつ毛 命をつなぐ空気
すぎて行く時間 痛み苦しむ心

＊空にのぼる太陽もまた
君と僕の中にあること
知ればまさに
見えないものが見えてくるよ

一人じゃないこと
感じているなら
何をしているから
心の太陽あらわそうよ

どんなに近くでも 聞けないものがある
耳をすましても 何もわからず途方に暮れる
アリの愛の歌や 花の開く音
星の落ちる音 叫び震える心

嵐の中に耐えるヒバリは
やがて金の太陽を見る
そして君は
喜びの歌の意味を知るよ

一人じゃないこと
感じているなら
何をしているから
心の太陽あらわそうよ

＊ 繰り返し

心の太陽あらわそう

どんなに近くでも

見えないものがある

目を凝らして見ても

何もわからず

途方に暮れる

まぶたの先のまつ毛

命をつなぐ空気

すぎて行く時間

痛み苦しむ心

心の太陽あらわそう

*空にのぼる太陽もまた
君と僕の中にあること
知ればまさに
見えないものが
見えてくるよ

一人じゃないこと
感じているなら
何をしてもいいから
心の太陽あらわそうよ

心の太陽あらわそう

どんなに近くでも

聞けないものがある

耳をすましても

何もわからず

途方に暮れる

アリの愛の歌や

花の開く音

星の落ちる音

叫び震える心

心の太陽あらわそう

4／5

嵐の中に耐えるヒバリは
やがて金の太陽を見る
そして君は

喜びの歌の意味を知るよ

一人じゃないこと

感じているなら

何をしてもいいから

心の太陽あらわそうよ

心の太陽あらわそう

*空にのぼる太陽もまた
君と僕の中にあること
知ればまさに
見えないものが
見えてくるよ
一人じゃないこと
感じているなら
何をしてもいいから
心の太陽あらわそうよ